

ひとはく地域研究員



カエルを網で捕まえる調査を開始しましたが、兵庫県の山間部に接した田圃では写真にあるとおり、鹿よけの網が張り巡らされ、容易に近づくことが出来ません。直接捕まえることをあきらめ、鳴き声による調査に切り替えました。

ひとはく地域研究員の制度をご存知ですか。「地域の自然・環境・文化を未来へ継承する活動」を実践し推進する、グループや個人を博物館の研究員がゼミナール形式で応援するしかけです。

博物館では、これまでひとはくセミナー・キャラバン・リサーチプロジェクト、また理科大好きスクール・教材開発研究グループ・夏季教職員セミナーなどを通して、いろいろな分野の講義・実習や普及活動をおこなってきました。目的は、地域の自然・環境・文化に根ざした「生涯学習」のテーマの発掘とその解決方法を

をみなさんとともに具体的に探ることです。

これら様々な活動を通して、自然環境等さまざまな地域の資源が明らかになりつつあります。博物館とともに、これらの資源をもう少し深く追求し、自らテーマを設定し、調査を行い、指導し、組織し、地域からそれらの成果を発信（＝地域研究員）してみませんか。

昨年の山東町キャラバン実施メンバーからの、カエルの調査をしたいという要望を受け、地域研究員の制度は発車しました。カエルの分布を採集で確認するには大変手間がかかります。調査方法の検討から始め、鳴き声がすぐにわかるカジカガエルを題材にスタートし、与布土川での分布が極めて限られていることが判明しましたが、まさにこの地点を台風23号の土石流が襲いました。さあどうなるか？調査は今年も続きます。

17年度は、「ひょうご自然環境セミナー」「あわじ自然環境セミナー」を入り口に、地域研究員養成事業を開始します（ひとはく手帳参照）。これら以外の地域でも、地域の自然・環境等の問題に自から取り組む方々を博物館は応援します。下記に連絡を。

シンクタンク事業室(079-559-2003)

田中哲夫



与布土の土石流

鳴き声調査の結果、どこにでも普通にいたと思い込んでいたカジカガエルが、山東町では与布土川の限られた地点でしか聞けないことが明らかになりました。この貴重な生息場所を昨年台風23号の土石流が襲いました。

新フロアスタッフ自己紹介

博物館でわたしたちが日々感じているのは、「ひとはくの『人』はおもしろい」ということ。みなさんがご覧になった数々の展示は、好奇心旺盛なひとはく研究員の、ほんの一部の活動成果。わたしたちはそれをガイドツアーや紙芝居で、みなさんの興味や疑問がむくむく…「研究員と話してみたいなあ」と大きく膨らむきっかけとなるように、楽しくお伝えするのが仕事です。ひとはくには、ぜひ、「人」に会いに来てくださいね。



5名の新フロアスタッフ(左から小西、秋山、矢野、沖原、阿部)

秋山晶子(あきやま・あきこ)

毎週土曜・日曜は、博物館の目玉コーナーである「氷上回廊」やボルネオ島の森を再現した「共生の森」で、楽しく分かりやすい展示解説を行っています。これを見ればあなたもひとはく博士になれるかも？！

阿部紀子(あべ・のりこ)

ご家族で楽しめる催しが、いつ?どこで?行われるかチェックできる「うきうきカレンダー」が新しくなりました。来館日の日付欄にはうきうきスタンプも押せます。ポケットに「うきうき」、いつも持ち歩いてね。

沖原恵(おきはら・めぐみ)

聞きたいお話をリクエストできる「4コマ劇場」が始まりました。たくさん聞いて豆知識を増やしちゃおう!また、アースシアターでは、「デジタル紙芝居」を上映しています。今日はどんなお話かな?ひとはくはお楽しみがいっぱいです。

小西亜由美(こにし・あゆみ)

ひとはくサロンでは、皆さんの疑問・質問にお答えする「はってなQ便」があります。自分の「はてな?」を専用ハガキに書いてポストへGO!月毎にシリーズが替わる「ぬりえコーナー」もお勧めですよ。

矢野早紀(やの・さき)

博物館から見える大きな公園には、生き物がいっぱい!研究員の先生やフロアスタッフと一緒に深田公園を探検してみよう。「深田公園うきうき探検隊」に参加すると、隊員証をGETできるよ!

新入館員自己紹介



さかもと あきら
坂本 啓
(次長)



たなべ たけし
田邊 武史
(総務課)



みaura ただお
三浦 忠保
(生涯学習課長)

博物館の業務は、今まで経験してきた県行政と違った分野なので少し戸惑いを感じています。県民の参画と協働の観点から、より充実した博物館サービスの展開をめざして、精一杯勤務していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

素晴らしい自然環境の恵まれた「ひとはく」で勤務できることに喜びを感じつつ、初めて目にする物や耳にすることばの多さに「ビックリ」する毎日です。博物館を利用される方々にも喜んでいただけるように努めていきたいと思っております。どうぞ、宜しくお願いいたします。

この4月から生涯学習課で勤務しております。人と自然の博物館には、8年ぶりの勤務となります。生涯学習課では、博物館の広報、講演会などの主催することなど直接来館者の顔の見える仕事をしてまいります。今後、皆様の博物館利用をサポートしてまいります。多くの方が、博物館を利用していただけますようお願いいたします。

編集後記:

企画展「コウノトリの野生復帰と自然再生」について今回特集しました。また、新コーナー「新ひとはく博士」をはじめました。これは、最近博士号を取得した研究員の学位論文をわかりやすく紹介するというものです。博士号取得研究員の増加は、研究面でも世界レベルを目指すというひとはくの意気込みの現れです。新コーナーを通じて、ひとはくのこうした取り組みもご紹介してゆきたいと思っております。(シンクタンク事業室 三枝春生)

ハーモニーのバックナンバーは博物館のホームページ <http://hitohaku.jp/publications/main.html>でご覧いただけます。

人と自然の博物館ニュース
「ハーモニー」No.50

平成17年7月10日
兵庫県立人と自然の博物館
〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目
TEL(079)559-2001(代表)
FAX(079)559-2007

博物館ではインターネット上でも情報を提供しています。
URL <http://hitohaku.jp/>